

所管課	農業委員会事務局														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策										
	第3章 元気創造都市		11 農業		01 持続的な農業経営を支援する										
事業：農業普及・啓発事業											整理番号	0513			
目的	市内農業の振興と発展に資するため、研修会及び農業委員会だよりの発行を行う。														
目標	農業委員及び認定農業者の資質向上を図り、農業者と農業委員会のかけ橋となるため ・農業委員及び認定農業者を対象に研修会を行う。 ・農業委員会だよりの発行 → 農家対象に年2回 全市民対象に年1回														
事業費・財源	事業費（決算額）(千円)		606		コスト情報・評価	総コスト（千円）		5,984		総合評価 A 評価理由	妥当性		A		
	財源内訳	一般財源		512		事業費		606			効率性		A		
		国府支出金		0		人件費		5,378			有効性		A		
		地方債		0		公債費		0			農業委員及び認定農業者の資質向上を図るため研修会を実施するとともに、農業委員会だよりを発行し、市内農業の振興と発展に努めた。				
		その他特定財源		94		一人あたり(円)		53							
						世帯あたり(円)		127							
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	情報の共有化により、農業者の資質向上が図られている。									
今後の方向性	農業従事者の減少をくいとめるため、新規就農者の参入促進のための協力を始め、農業振興・啓発事業について推進を図っていく。														

事業 優先順位		1	細事業：農業普及・啓発事業				整理 番号		02	
目 的		農業者の利益代表機関として各種の農業振興・啓発事業を展開し、市内農業の発展や農業者の地位向上を図ることを目的とする。								
目 標		農業委員及び認定農業者の資質向上を図り、農業者と農業委員会のかけ橋となるため ・農業委員会だより(農家向け機関紙)の作成並びに発行 計4200部 ・農業委員会だより特集号(一般市民対象:全戸配布)の作成並びに発行 47700部 ・『農業委員会夏期研修会』の開催 1回								
事業 実施主体		直営	事業開始 年	昭和57年度	根拠 法令	農業委員会等に関する法律				
事業費・財源	事業費・財源 内訳	事業費(決算額)(千円)		平成24年度	比 較	コスト 情報・従事 職員数 参考	総コスト(千円)		平成24年度	比 較
		一般財源		606			事業費		5,984	
		国府支出金		512			人件費		606	
		地方債		0			公債費		5,378	
		農業者年金手数料		0			一人あたり(円)		0	
				94			世帯あたり(円)		53	
				0			職員数(人)		127	
				0			再任用職員数(人)		0.65	
				0					0.10	
		今後の方向性		農業従事者の減少をくいとめるため、新規就農者の参入促進のための協力を始め、農業振興・啓発事業について推進を図っていく。						
評 価	妥当性	効率性	有効性	対象者	・農業委員(22名)・認定農業者(46人)を始め、農業従事者(約3,000人) ・一般市民(全戸配布)					
	A	A	A							

